

製品名: CD177 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08251**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 46kDa |

抗原情報

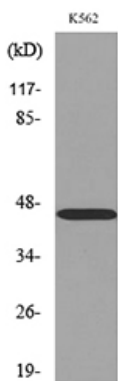
| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | CD177 |
| 別名 | CD177; NB1; PRV1; CD177 antigen; Human neutrophil alloantigen 2a; HNA-2a; NB1 glycoprotein; NB1 GP; Polycythemia rubra vera protein 1; PRV-1; CD177 |
| 遺伝子 ID | 57126.0 |
| SwissProt ID | Q8N6Q3 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト CD177 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410 |

背景

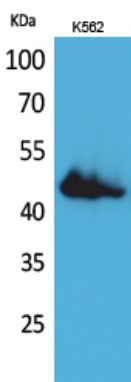
この遺伝子は、好中球の活性化に関与するグリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）結合型細胞表面糖タンパク質をコードしています。このタンパク質は血小板内皮細胞接着分子-1に結合し、好中球の遊走に関与します。この遺伝子の変異は骨髄増殖性疾患と関連しています。この遺伝子の過剰発現は真性紅色多血症患者で確認されています。このタンパク質に対する自己抗体は肺輸血反応を引き起こす可能性があり、またウェゲナー肉芽腫症にも関与している可能性があります。19番染色体上でこの遺伝子に隣接する関連偽遺伝子が同定されています。[RefSeq 提供、2014年4月]、誘導：休止期顆粒球におけるCSF3による。真性多血症（PV）および本態性血小板血症（ET）患者において誘発される。、質量分析：PubMed：11465086,多型：Ala-3、Leu-251、Thr-348の変異と好中球におけるCD177の低発現との間には有意な関連性がある。、PTM：細胞表面でのタンパク質分解（シェディング）によって可溶性型が生成されることもある。、PTM：N-グリコシル化。、類似性：2つのUPAR/Ly6ドメインを含む。、組織特異性：正常骨髄で高発現し、胎児肝臓で弱発現する。好中球に発現。真性多血症（PV）および本態性血小板血症（ET）患者の顆粒球に発現。、

研究分野

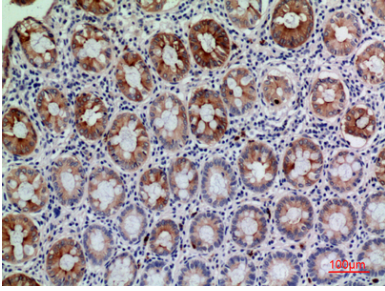
画像データ



CD177 抗体を使用した K562 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



CD177 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された